

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第304回

菅原道真

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和4年4月25日

編集委員：入試広報室 鈴木



今回の言葉

勉強にしろ、仕事にしろ、
誠心誠意の努力をするならば、
祈らなくても、
神は守ってくださる。

菅原 道真は、日本の平安時代の貴族、学者、漢詩人、政治家。参議・菅原是善の三男。官位は従二位・右大臣。贈正一位・太政大臣。忠臣として名高く、宇多天皇に重用されて、寛平の治を支えた一人であり、醍醐朝では右大臣にまで上り詰めた。しかし謀反を計画したとして、大宰府へ大宰員外帥として左遷され現地で没した。

Column

ご存知のように『学問の神』『天神』として非常に有名な人物です。神様からのメッセージだと思えば説得力が増しますね。現在は菅原道真と聞くとこのようなイメージだと思うのですが、実は現在とは違う『雷神』という貴族たちを恐怖に陥れる存在だったそうです。なぜそのような存在として恐れられていたのか、どのようにして現在のように天神と呼ばれる存在となったのか。諸説あるようですが、興味のある人は深掘りしてみてください。

今回の言葉から、私は言葉通りの『本気で頑張っていれば神様が守ってくださる』という印象は持たず、『人間の持つ大きな力と可能性を信じて頑張りましょう!』というメッセージだと感じました。みなさんは“奇跡”を信じますか?最近“ミラクル”という表現をよく用いていますが、スポーツでは“流れ”というものを非常に重要視している中で、努力した成果として、本番で“引き寄せる力”という目に見えない力を生み出した感動的な大勝利を多く見聞きます。“偶然”と言ってしまうえばそれまでですが、偶然もひとつの奇跡だと思いませんか?遊んでいる中で『こんなことある?』と大笑いしてしまうような“ハプニング”も奇跡のひとつだと思います。

集中力や好奇心など、人間の持つ感情の中のひとつでもMAXになると奇跡が起きるのかもしれませんが。そんな奇跡を引き寄せる力が人間にはあるということ、様々な物事に対してひとつひとつ自分の力をしっかり発揮する姿勢、それが『誠心誠意』というものである。菅原道真はそんな風に伝えたかったのかもしれませんが。『神』が守ってくれる、みなさんにとっての神様は、常に見守ってくださる家族や仲間かもしれません。みなさんを応援してくれる存在ですから神様ほどの尊さです。また、人に対する感謝や思いやりの気持ちを持つことも誠心誠意と呼べるものではないでしょうか。心を磨き、仲間たちと互いを理解し、協力しながら努力をすることで、私たちは奇跡を起こせるのかもしれない。みなさんが奇跡を起こす舞台が正智深谷高校であってほしいと願っています!